

トピックス

9月9日・10日にNPO福祉用具ネット15周年記念イベント『抱え上げない介護技術セミナー』を開催しました。一部の導入編、さらに二部の指導者育成コースを開催し、引き続いて、10月22日には三部として指導者と共に活動をしてくれるリーダー養成コースを開催しました。そして100人体制でスタートした訳です。あれから2か月が経過しました。各地域で活発に頑張っているようすが報告されています。チームは、福岡県だけでなく、佐賀県、大分県、熊本県、長崎県と幅広く動き始めました。



10月22日抱え上げない介護技術三部リーダー養成コース 100人の実技研修



11月17日 TVQ（九州放送）でも、ニュースふくおかサテライトで「抱え上げない介護の課題」というテーマで放送。



11月21日RKB（毎日放送）今日感テレビでも放送。今回は【最先端の福祉機器】というテーマで、西日本国際福祉機器展で取材した福祉用具やNPOが開発支援をした「きのこグリップ」について取り上げていただきました。飯塚市の特別養護老人ホーム筑穂桜の園や嘉麻市の東が丘デイサービスセンターで、きのこグリップを使っている様子も紹介していただきました。（11月16日夕方には、同じ施設で、RKBと同時取材をしたKBC（九州朝日放送）も、きのこグリップについてニュースサテライトで放送されました。）



きのこグリップ使用のようすも取材



最新の福祉機器については、NPOのブースで、プラッツの最新ベッドやラップポン（日本セイフティ）、おしゃれのエプロン（ニシキ）、きのこグリップ（ラック）などを紹介していただきました。



きのこグリップは、NPOの会員である佐々木薫さんの特許を活用して開発したものであり、佐々木さんも取材を受けました。写真は佐々木さんが左手で書いている様子です。



きのこグリップの開発支援をした坂田副理事長も取材を受けました。